

令和 8 年度地域未来交付金の具体的使途・実施体制

□地域未来推進型（インフラ整備事業を除く。）

区分	交付対象事業の名称	概要	交付対象事業経費	交付金	事業内容（設備・備品）	事業費	（予定）支出方法	（予定）支援対象者	（予定）事業推進主体	（予定）委託先
単独	更別村スーパービレッジ構想におけるコミュニティナースとともにつくる地方創生	・多世代へのコミュニティナースの普及 ・多世代交流事業の確立 ・他地域からの研修受け入れによる関係人口の増加	32,366千円	16,183千円	①多世代へのコミュニティナースの普及：定着 ＜コミュニティナース普及・定着活動委託費＞ ・村民コミュニティナースの定着：12,960千円 ・社会福祉協議会のコミュニティ構築連携事業：2,160千円 ・プロジェクト管理費：4,464千円 ・車両費（3名分）等現地活動経費：3,000千円 ・一般管理費：2,942千円 ②多世代交流事業：事業検証・改善 ＜多世代交流事業委託費＞ ・多世代交流事業の運営・改善：5,400千円 ・多世代交流のイベント、講座、ワークショップ等の開催諸経費（12回/年）：360千円 ③他地域からの研修受け入れによる関係人口の増加 ＜関係人口の増加事業委託費＞ ・インターン生の受け入れ対応費：720千円 ・北海道内外での外部講演の実施：360千円	25,526千円	補助	更別村民全員	株式会社 C N C	株式会社まめ一ず
						5,760千円	補助	更別村民全員	株式会社 C N C	株式会社まめ一ず
						1,080千円	補助	更別村民全員	株式会社 C N C	株式会社まめ一ず
単独	村内外から人の流れをつくる交流促進事業	・村内外から人の流れをつくる出会いと交流事業 ・村内外から人の流れをつくるまちづくりエンターテインメント事業	21,000千円	10,500千円	①村内外から人の流れをつくる出会いと交流事業 ＜更別村の特色のある料理づくりなどを通じた特別な人間関係の構築事業＞ ・双方で教え合い交流が生まれる料理イベント（教室・試食会・講座）のPR及び民間事業者による独立採算に向けた本格稼働に関する費用：3,600千円 ・JAさらべつと取り組む更別村の特産品を使ったメニュー開発のPR及び民間事業者による独立採算に向けた本格稼働に関する費用：2,100千円 ・FMラジオ局や道内雑誌や新聞を活用した更別村のPRとイベント周知に関する費用：1,000千円 ＜更別の既存ストックの利用方法の転換を行い魅力的な場所や交流機会の創出事業＞ ・官民双方の村内施設や村内で提供するサービスの使用方法の宣材動画に関する費用:400千円 ・村内飲食店等へのSNSの使い方講座（対面orWEB）のPR及び民間事業者による独立採算に向けた本格稼働に関する費用:500千円 ・リアルとオンラインで実施する村の未来を考えるデジタルスナックのPR及び民間事業者による独立採算に向けた本格稼働に関する費用:3,700千円 ②村内外から人の流れをつくるまちづくりエンターテインメント事業 ＜先進デジタル技術を用いたエンターテインメントを介した新しい出会いの創出と知見の深化事業＞ ・ゲームを通じて実施するドローンの紹介および体験会のPR及び民間事業者による独立採算に向けた本格稼働に関する費用:5,200千円 ・更別村を象徴する風景とコラボしたVR美術館のPR及び民間事業者による独立採算に向けた本格稼働に関する費用：4,500千円	11,300千円	補助	更別村民全員	Social knowledge Bank合同会社	(株)長大
						9,700千円	補助	更別村民全員	Social knowledge Bank合同会社	(株)長大
単独	食糧自給率6800%を向上させるバイオスティミュラント試作実証事業	地球温暖化による異常気象である高温早魃の影響を受けない農産物の安定生産性向上を図る為、地元企業であるJAさらべつと『バイオスティミュラント』を研究開発している株式会社AGRI SMILEが共同で高温・低温・乾燥等の気候変動対策及び資材高騰対策に資する機能を持った『バイオスティミュラント』を3年間にわたリ実証・施策を重ね開発することで市販化を目指す。	9,000千円	4,500千円	①食糧自給率6800%を向上させるバイオスティミュラント試作実証事業 ＜地元企業に対する補助金/圃場試験＞ ・遺伝子発現解析：5,500千円 ・圃場試験分析：2,700千円 ・一般管理費：800千円	9,000千円	補助	更別村農家	JAさらべつ	(株)AGRI SMILE
単独	更別村「ライフ・アグリ・コネクト」産業・健康持続化推進事業	更別村は大規模農業地域として高い生産性を有する一方、労働力不足が課題としてある。農業分野ではAIやロボット技術により馬鈴薯収穫工程等の省力化・高度化を進め、データ活用型農業への転換を図る。	91,800千円	45,900千円	①ポトハーベスターへのAI搭載選別機実装及び生産管理自動化事業 ＜地元企業に対する補助金＞ ・ポトハーベスター自動選別装置レンタル費用:8,000千円 ・AI監視装置実証費用:5,000千円 ・種子等費用:3,300千円 ・農業PM費用:9,000千円 ・スマート農業実証用通信費、調整費:8,500千円 ・ロボット等AI生産管理システム連携改修費:40,000千円 ②ロボットラ遠隔監視準備事業 ＜地元企業に対する補助金＞ ・遠隔監視制御ロボットトラクター架装費用:18,000千円	73,800千円	補助	更別村農家	Social knowledge Bank合同会社	(株)長大
						18,000千円	補助	更別村農家	Social knowledge Bank合同会社	(株)長大

令和 8 年度地域未来交付金の具体的使途・実施体制

□デジタル実装型（TYPEA）

区分	交付対象事業の名称	概要	交付対象事業経費	交付金	事業内容（設備・備品）	事業費	（予定）支出方法	（予定）支援対象者	（予定）事業推進主体	（予定）委託先
単独	さらべつむら「ひやくわく」どんぐりポイントデジタルサービスの深化事業	本村では、地域経済の活性化と事務効率化を目的に、紙のスタンプから住民ID連携型の「デジタルどんぐりポイント」へ移行している。従来はスタンプ会窓口で現金を扱いながらチャージを行う必要があり、手続きの煩雑さが課題となっていた。また、デジタル機器の操作に不慣れな住民においては、デジタルデバイドの発生が懸念されていた。これらの課題に対応するため、現金・電子マネーからのエクステンジサービスを導入し、村内共有のデジタル通貨として利便性と経済循環の向上を図る。さらに、myQRコードを物理的に携帯できる仕組みとすることで、デジタル機器を持たない住民も利用可能とし、デジタルデバイドの緩和を進める。併せて、購買データを活用した施策の高度化や地域活動へのポイント付与を通じて、住民の社会参加とQOR向上を推進する。	13,820千円	6,910千円	①どんぐり商品券購入時のキャッシュレスサービス ・サービス構築費（システム開発費）：3,000千円 ・改修に係るシステム運用費：2,000千円 ・外部システム連携費用：2,000千円 ・システム保守クラウド利用料等：5,120千円 ・データ基盤連携利用料：1,600千円 ・普及啓発費用：100千円	13,820千円	補助	更別村民全員	Social knowledge Bank合同会社	(株)長大